
第26回

日本水大賞

2024 日本ストックホルム青少年水大賞

受賞者へお祝いの言葉

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第26回日本水大賞の各賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

大賞を受賞された「玉川学園サンゴ研究部」の皆様は、小学校6年生の理科の授業でサンゴ礁の白化について学んだことをきっかけに、絶滅が危惧されるサンゴを自ら育て、沖縄の海に移植する保全活動に取り組んできました。そして、その様子をホームページやSNS、学内新聞などを通じて広く情報発信する活動を、長期にわたって実践されています。

活動にあたっては、小学生から高校生までの部員一人一人が主体的に活動できるプラットフォームを作成した上で、地域団体、様々な企業、研究者と連携するなど、学校の垣根を飛び越えて、精力的に活動してきました。

皆様が栄えある賞を受賞したことは、将来にわたって生物多様性の恵みを受け続ける豊かな都市を目指している東京都としても、とても心強く思います。

今回の受賞を契機に、水環境の保全に関する取組の一層の推進に向けて、皆様の活動がますます発展していくことを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和6年6月18日
東京都知事 小池 百合子

祝 辞

青森県立名久井農業高等学校「FLORA HUNTERS」の皆さん、2024日本ストックホルム青少年水大賞の受賞、誠におめでとうございます。

この度の受賞は、気候変動や人口増加による水不足が危惧される中であって、超音波発生装置によりミスト状にした水を一日に数回だけ根に散布する節水型ミスト栽培システムを開発し、密閉容器を用い吸収されなかった水分を再利用することで、水耕栽培よりも少量の水での栽培を可能としたこと、また、省エネルギーであり、気候変動対策にも貢献できることが、高く評価されたものと伺っております。貴重な水を有効利用する新発想の栽培方法が、広く世界で活用され、地球温暖化対策に大いに貢献していくことを期待しております。

青森県では、「若者が、未来を自由に描き、実現できる社会」をめざしており、新たな未来を切り拓いていく皆さんが、これまでにない柔軟な発想で世界的な水問題の解決に果敢に挑戦されていることは、非常に頼もしく、大変嬉しく思っております。

今回の受賞を契機に、皆様の活動が今後ますます発展されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和6年6月18日
青森県知事 宮下 宗一郎